

第Ⅱ章 本市の概要

1 広域的な位置

(1) 位置、面積

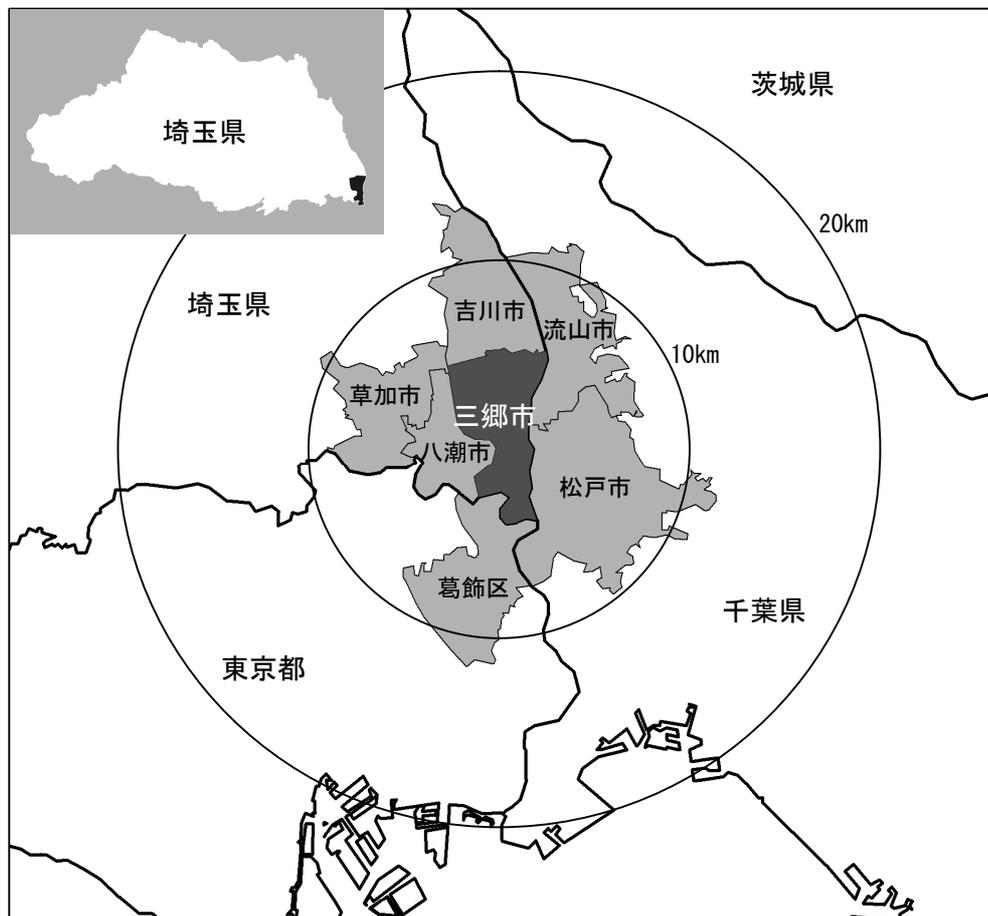
三郷市は、埼玉県東南端に位置し、東は江戸川を隔てて千葉県流山市・松戸市に、南は大場川と小合溜井を境に東京都葛飾区に、西は中川を境に草加市・八潮市に、北は吉川市にそれぞれ接しています。面積は30.41km²であり、これは埼玉県の総面積の0.8%に相当します。

(2) 立地特性

本市は、江戸川と中川とに挟まれ、かつては早場米の産地として水と緑の豊かな地域でした。その後、高度経済成長や都心から20km圏といった地理的条件をもとに、首都近郊の住宅都市として急速に発展してきました。

三郷インターチェンジを中心に首都高速6号三郷線や常磐自動車道、東京外かく環状道路など広域交通網に恵まれ、また、平成17年には、つくばエクスプレスが開通したことにより、さらに都心とのアクセスも向上し、今後ますます立地を活かした都市機能の充実が図られようとしています。

■本市の位置



2 自然的条件

(1) 地形

本市は、江戸川と中川に挟まれた中川低地の中に位置し、南北に長い市域をしています。地域の地形は市の北部で3~3.5m、南部で2~2.5mの標高をもち、北より南にむかってわずかに低くなる程度の平坦な低地ですが、2つの大河川や古い流路跡に沿う微高地（自然堤防）と、それら間にある低地（後背湿地）からなっています。

自然堤防は、やや水はけもよく、一般的に宅地や畑地に利用され集落が形成されました。一方、後背湿地は全般的に水はけが悪く、低湿地となっているところが多くみられ、一般的に水田として利用されていました。

(2) 緑と水辺

本市は豊かな水辺に恵まれ、県内の主要河川である江戸川と中川、これを結ぶ三郷放水路が市域の骨格となっています。また、市域内を南北に大場川、第二大場川、下第二大場川が流れ、南部の都県境には小合溜井が位置しています。さらに農業用水として、二郷半用水や幸房用水、久兵衛用水などが市内をめぐっております。これらの河川や水路等は緑道や遊歩道などに利用されており、河川沿いの社寺林や屋敷林、農地とともに水と緑が調和した良好な景観をつくりだしています。

本市における現存植生の大部分は、水田雑草群落が占めています。ある程度の規模をもつ自然植生としては、中川の自然堤防上にシラカシーヌシデ群落とアカシデーヌシデ群落が残されています。

3 社会的条件

(1) 人口

平成21年3月1日における住民基本台帳による総人口は131,002人、世帯数は53,421世帯となっています。

本市の人口は、高度経済成長に歩調を合わせるように増加の一途をたどり、特に昭和45~50年にはJR武蔵野線の開通やみさと団地の完成などにより急激な増加を見せました。その後、ゆるやかな増加傾向をたどっていましたが、平成7年ごろからは横ばいもしくは減少傾向にありました。しかしながら、平成18年からは若干ですが増加に転じています。

(2) 産業

平成17年の国勢調査による本市の産業別就業者数をみると、第一次産業従事者が1.4%、第二次産業従事者が31.3%、第三次産業従事者が62.5%となっています。

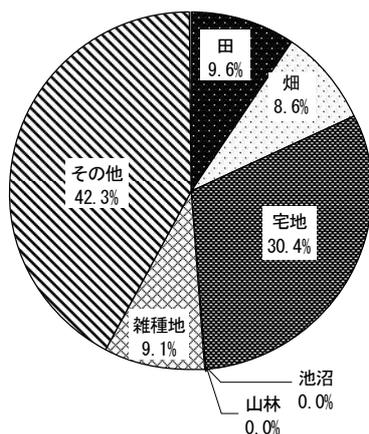
第一次産業においては、大消費地に近く条件には恵まれていますが、都市化の進展に伴い、農地の減少、労働力の高齢化、後継者不足など多くの問題を抱え減少の一途をたどっています。

(3) 土地利用

本市の土地利用は、平成20年1月現在では農地（田・畑）が18.2%、宅地が30.4%を占めています。都市化の進展に伴い、農地の転用が進んでおり、その多くが宅地へと転用されているほか、駐車場へと転用される割合もかなり高くなっています。

本市の全域が都市計画区域として指定されており、市域の45.3%にあたる1,379haが市街化区域であり、その約8割を住宅系の用途が占めています。

■本市の土地利用



地目	面積
田	2,889,070 m ²
畑	2,595,254 m ²
宅地	9,181,322 m ²
池沼	1,416 m ²
山林	5,948 m ²
雑種地	2,732,543 m ²
その他	12,754,447 m ²
合計	30,160,000 m ²

(資産税課)

※平成20年1月1日現在、それぞれ四捨五入しているため合計が100.0%とならない。

※その他には、国・県・市所有の非課税地、公園・公衆用道路等の用途による非課税地が含まれます。

※無地番の土地は含まれない。

■農地転用の状況

年度	総数		住宅用地		工業用地		公共用地		その他の用地	
	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積
15	230	135,028	106	47,060	-	-	-	-	124	87,968
16	212	310,322	96	234,275	6	3,808	2	222	108	72,017
17	240	164,900	120	70,911	5	3,527	-	-	115	90,462
18	286	261,291	132	162,482	4	1,778	-	-	150	97,031
19	265	201,845	142	76,571	10	22,652	-	-	113	102,622

(農業委員会)

(4) 面的基盤整備の状況

本市では既に、三郷駅を中心とする早稲田土地区画整理事業が完了しており、大規模な集合住宅地として、みさと団地、早稲田団地、さつき平が展開しております。

現在は、つくばエクスプレスの鉄道建設と一体的に整備を行う三郷中央土地区画整理事業と、三郷インターチェンジの道路交通便利を活かした三郷インターA地区土地区画整理事業が進められています。

また、広大な敷地を活かした複合都市機能拠点として、新三郷ららシティ地区を含む新三郷駅周辺において基盤整備が完了し、開発が進められています。